



# リーダーシップ 111 設立 30 周年記念シンポジウム

## 変えていこう、次の 10 年で

リーダーシップ 111 は各分野で活躍する女性達が、助けあい、学びあい、情報交換をしながら、素敵な社会の実現に向けて行動しようと、1994 年に活動を開始しました。今年 30 周年を迎え『変えていこう、次の 10 年で』というテーマでシンポジウムを開催します。世界ではあらゆる分野での女性リーダーの活躍が目覚ましいですが、日本は現在も変化の途上です。日本の歴史を振り返り、ビジネスや社会運動の第一線で活躍する方々の経験を参考に、女性のリーダーシップの現在地とこれからについて考えます。それぞれが一步前へ踏み出す機会になればと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

### - 開催概要 -

- 《プログラム》
- 14:00 開会挨拶
  - 14:05 登壇者（パネリスト）のスピーチ
  - 14:50 パネルディスカッション
  - 15:40 質疑応答 ～ 登壇者よりまとめの一言

登壇者（パネリストとモデレーター）のプロフィール（氏名の後の\*印はリーダーシップ 111 の会員）

（登壇順）

横山 百合子氏\* 国立歴史民俗博物館名誉教授



東京大学文学部卒業。神奈川県立高校で社会科教諭として勤務後、千葉経済大学経済学部教授などを経て、国立歴史民俗博物館教授（現在は名誉教授）。博士（文学）。専門分野は、日本近世史。2020年国立歴史民俗博物館企画展示「性差（ジェンダー）の日本史」のプロジェクト代表を務めた。著書に岩波新書『江戸東京の明治維新』（2018年）等。

坂東 眞理子氏\* 昭和女子大学 総長



富山県生まれ。1969年東京大学卒業、総理府入府。1995年埼玉県副知事、1998年ブリスベン総領事、2001年内閣府男女共同参画局長。2004年昭和女子大学・女性文化研究所長、2007年同大学学長、2014年同大学理事長、2016年同大学総長。著書「女性の品格」「日本の女性政策」「70歳のたしなみ」「幸せな人生の作り方」「女性の覚悟」など著書多数。

キャシー松井氏\* MPower Partners Fund L.P.  
ゼネラル・パートナー



ゴールドマン・サックス証券会社、元日本副会長およびチーフ日本株ストラテジスト。1999年に提唱した「ウーマノミクス」の概念は、日本政府が女性活躍推進を経済成長戦略として打ち出す根拠となった。多様性、コーポレートガバナンスと持続可能性を経済合理性の観点から分析し、多くの企業や投資家に影響を与えている。2020年に『女性社員の育て方、教えます』を出版。

能條 桃子氏 (一社) NO YOUTH NO JAPAN 代表理事  
FIFTYS PROJECT 代表



1998年生まれ。デンマークに留学後、若い世代の政治参加を促進するNO YOUTH NO JAPANを設立。2022年には政治分野のジェンダーギャップ解消を目指し20~30代の地方選挙への立候補を呼びかけFIFTYS PROJECTを行う一般社団法人NewSceneを設立。慶應義塾大学院経済学研究科修士卒。TIME誌の次世代の100人#TIME100NEXT 2022 選出。



モデレーター：光畑 由佳氏\* モーハウス代表 / リーダーシップ 111 代表

自らの体験から、産後女性が社会とつながるため、着られる授乳室として授乳服を開発。ソーシャルアクションとしての「子連れ出勤」を実践・発信し、内閣府女性のチャレンジ賞など受賞。現在は大学院等で子連れ出勤の意義に関する研究を行う。東京大学大学院情報学環客員研究員、筑波大学大学院非常勤講師。

## 2024年12月15日（日）14:00~16:30 受付 13:30 開始

場所：東京ウィメンズプラザ 地下1階ホール（外側のエスカレータを降りて右側）

<https://www.twp.metro.tokyo.lg.jp/outline/tabid/136/default.aspx>

渋谷区神宮前 5-53-67

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅 B2 出口から徒歩7分

会費：1000円 ※会費は現金で当日受付でお受けします。

お申込み：12月7日（土）まで（先着順）

QRコードまたは下記 URL からご登録ください。

<https://forms.office.com/r/fyL9uRF0YU>



青山通り(246)オーバルビルの前にあるこの看板が目印です。

# 登壇者からのメッセージ

## 「変えていこう、次の10年で」



横山 百合子氏  
国立歴史民俗博物館名誉教授

### 社会を見る眼を鍛えれば、歴史は変えられる

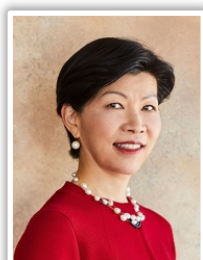
現在、もっとも多く使われている高校日本史教科書の女性史記述は、わずかに3%。男女雇用機会均等法、女性差別撤廃条約すら書かれていません。しかし、日本列島の長い歴史をひもといてみれば、有名・無名の女性たちの躍動する姿が浮かび上がってきます。さまざまな時代と地域に生きた女性の姿を通して、現代社会を見る眼を鍛え、歴史は変えられることを学んでいきましょう。



坂東 眞理子氏  
昭和女子大学 総長

### 女性は変わった 次は男性と社会が変わる時

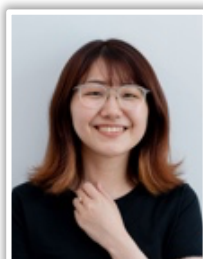
1994年アメリカの女性達が社会進出初期にロールモデル、メンター、ネットワークが必要と書いていたのに触発され、日本でもと願って7人の方を発起人にリーダーシップ111が発足。当時は高度成長時代に形作られた「男性稼ぎ主、女性ケア」のモデルが揺るぎだしていましたが、30年たつて矛盾は明確です。稼ぎもケアも引き受ける中で女性は大きく変化。しかし男性は十分には変わらず、新しい社会に対応した社会保障制度、税制、雇用等の変化も不十分。いかにお互いを支える新しい社会を作るか、女性達が覚悟をもって働きかける時です。



キャシー松井氏  
MPower Partners Fund L.P.  
ゼネラル・パートナー

### 政治が変わらない限り、日本の社会は変わらない

国の法律、政策を決める組織は国会です。国会議員が男性のシニア中心であることが、日本の問題の根っこにあります。戦後80年近く、衆議院議員の女性割合は1割前後。女性、若者、マイノリティなどすべての国民の声を反映する組織にするべきです。地政学的リスクを乗り越え、レジリエントな社会をつくる、明るい未来をつくるため、この10年で政治の世界を変えないといけません。当日は、経済的合理性を踏まえて社会をどう変えていくかについてもお話したいと思います。



能條 桃子氏  
(一社) NO YOUTH  
NO JAPAN 代表理事  
FIFTYS PROJECT 代表

### 真つ当な男女平等意識と女性の連帯で政治を変えよう

過去数十年、他の先進国が男女平等にアクセルを踏んだ中、日本では先輩方の努力のおかげで良い変化も起きている一方で、女性を家庭内無償ケアの担い手、非正規雇用に従事する安い労働力として留めおこうとするような、男女平等のブレーキとなる制度が政治過程でつづられ維持されてきました。今こそ真つ当な男女平等意識で政治を変えていくことが必要だと思います。世代、経済状況、地域を越えた女性たちの連帯をどうつくれるのか、お話できることを楽しみにしています。

## — 開催に向けて： リーダーシップ111代表 光畑由佳 —

リーダーシップ111の設立から30年。男女雇用機会均等法の制定から来年で40年となります。この間、女性たちは、男性社会をベースとした組織やアンコンシャスバイアスのはざままで生きてきました。女性の歴史、行政、経済、政治とさまざまなお立場からのお話から、女性自身が持つ可能性を再確認し、現在のひずみをどう変えていくかを考えます。未来につなぐ行動への思いをそれぞれが持ち帰れるセッションを、会場の皆さんと共に作りたいと思います。

日程：12月15日(日) 14:00-16:30 (受付13:30開始) 詳細は前ページをご覧ください。

場所：東京ウィメンズプラザ地下1階ホール

お申込み：12月7日(土)まで(先着順) QRコードまたは下記URLからご登録ください。

<https://forms.office.com/r/fvL9uRF0YU>

